TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

成長する教会に不可欠なこと（パート5）
惜しみなく与える　使徒言行録２章42-47節

2025年1月4＆5日
神永　譲（ジョエル）牧師

はじめに

皆さん、明けましておめでとうございます！　スバ・バプテスト教会、トンガ・バプテスト教会、TBC三郷、ウエストトウキョウの家族の皆さんも、新年おめでとうございます。

2025年を迎えた今、私たちが神の恵みにより、主を、互いを、そして周りの人々を愛することに改めて献身し、多くの人が、キリストを個人的な救い主として従い、神に永遠の希望を置くことが私の祈りであり、願いです。

祈りましょう！

お金を使うことと幸せ

今日のメッセージのテーマを紹介するにあたって、お金を使うことと幸せの関係性について、ブリティッシュ　コロンビア大学のエリザベス・ダン教授による2008の研究内容を分かち合いたいと思います。参加者はそれぞれ5ドルまたは20ドルが入った封筒を渡されました。ある人々は、その日のうちにお金を使うように指示され、ある人々はお金を他者のために使うようにと指示されました。「他者への贈り物のためにお金を使った人々、または慈善寄付のためにお金を使った人々は、自分のためにお金を使うように指示された人々よりも幸福度が高いことが報告されました。」（ジェニー・サンティの著書「The Giving Way to Happiness:Stories and Science behind the Life-Changing Power of Giving」より引用　参考：www.epm.org）

もしあなたが封筒を受け取った一人であったならば、どのようにお金を使ったでしょうか。

聖書、与えることとお金

聖書には、与えること、お金や所有物の概念に関する箇所が2300節以上あります。これは他のどのテーマよりも2倍以上の数字です。（参考：www.ncfgiving.com）

イエスは、説教のおよそ15%でお金について話しています。また、39あるたとえ話の11でお金について教えています。イエスが最も多く取り上げている話題なのです！イエスがこのテーマについて語るのは、彼がお金や所有物に関心があるからではなく、それが私たちの心の問題だからです。人々がイエスに従うことの妨げとなる主な理由の一つなのです。（参考：www.wealthwithpurpose.com）

もしTBCの説教が平均して月に一度、与えることやお金の問題に焦点を当てたらどうでしょうか。人々は教会に来続けるでしょうか。

メッセージ　シリーズの概要

昨年、2024年2月に私は使徒言行録2:42－47からメッセージシリーズを始める特権が与えられ、今までこのシリーズの4つのメッセージをすることができました。簡単におさらいをすると、聖霊の到来とその力強い働き、また使徒言行録2:37－41から、福音説教、悔い改めとバプテスマが初代の教会の設立につながったことを学びました。しかし、初代の信者たちと教会のメンバーは、説教をしてバプテスマを施しただけでなく、幾つかの重要な事に完全に身を捧げました。これらは続く42－47節に記されています。「[42] そして、一同はひたすら、使徒たちの教えを守り、交わりをなし、パンを裂き、祈りをしていた。[43] すべての人に恐れが生じた。使徒たちによって多くの不思議な業としるしが行われていたのである。[44] 信じた者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、[45] 財産や持ち物を売っては、必要に応じて、皆がそれを分け合った。[46] そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に集まり、家ではパンを裂き、喜びと真心をもって食事を共にし、[47] 神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加えてくださったのである。」　（使徒言行録2:42－47）

初代教会の信者たちが専念した7つの必要事項があります。

(1)使徒の教え
(2)交わり
(3)パンを裂く
(4)祈り
(5)与え合い、互いに仕える
(6)神を賛美し、礼拝する
(7)福音を伝える、つまり伝道する：「主は救われる人々を日々仲間に加えてくださった」

これまで、最初の4つの必要事項：使徒の教え、交わり、パンを裂くこと、祈りについて学びました。今日のメッセージでは、「与え合い、互いに仕える」ことに焦点を当てます。これは成長する教会にとって5つ目の大切なことです！私がこのメッセージのタイトルを「惜しみなく与える」としたのは、初代の信者たちが共同体として互いの必要を満たし、支え合う姿勢や行動を形容するに最もふさわしい言葉だと強く思ったからです。

ここで、いくつか質問をします：私たちの教会、TBCを惜しみなく与える教会と表現することが出来ますか？あなたのスモールグループを惜しみなく与えるグループと表現することができますか？自分自身を惜しみなく与える人だと表現し、他者もあなたのことをそのように言うことができるでしょうか？

今日の主な箇所：使徒言行録2:44－45

「[44] 信じた者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、[45] 財産や持ち物を売っては、必要に応じて、皆がそれを分け合った。」（使徒言行録2:44－45）

使徒言行録2:44－45の長いバージョンは使徒言行録4:32－35

「[32] 信じた人々の群れは心も思いも一つにし、一人として持ち物を自分のものだと言う者はなく、すべてを共有していた。[33] 使徒たちは、大いなる力をもって主イエスの復活を証しした。そして、神の恵みが一同に豊かに注がれた。[34] 信者の中には、一人も貧しい人がいなかった。土地や家を持っている人が皆、それを売っては代金を持ち寄り、[35] 使徒たちの足元

に置き、必要に応じて、おのおのに分配されたからである。」（使徒言行録 4:32－35）

寛大さの例

農夫の友人を持つある教会の牧師についての話を読みました。「ある日彼らは柵越しに話をしていました。牧師は農夫にこう尋ねました。「エイブ、君に 100 頭の馬がいたら、僕に 50 頭くれるかい？」エイブは「もちろん。」と答えました。牧師は「君に 100 頭の牛がいたら、僕に 50 頭くれるかい？」と尋ねました。エイブは、「いいとも。」と答えました。さらに牧師は、「君に 2 頭の豚がいたら、僕に 1 頭くれるかい？」と尋ねました。エイブはこう答えました。「牧師先生、やめてくれよ。僕に 2 頭の豚がいることを知っているだろう？」 寛大さとは理屈の上では響きが良いです。財産の半分を与えることを思い描くクリスチャンは多くても、たった 1 頭の豚を手放すことができるクリスチャンは少ないようです。(宣教師/作家　ルー・ニコルズ　出典不明)

惜しみなく与えることについての 4 つの重要なポイント

・惜しみなく与えることは、内なる変化をもたらす聖霊の働きによるものです

・惜しみなく与えることは、他者の必要を満たすことに焦点を当てます

・惜しみなく与えることは、与える側と受け取る側双方に幸せをもたらします

・惜しみなく与えることは、永遠なる影響をもたらす投資です

1. 惜しみなく与えることは、内なる変化をもたらす聖霊の働きによるもの

「[37] 人々は(ペテロの説教を聞くユダヤ人)これを聞いて大いに心を打たれ、ペトロと他の使徒たちに、『兄弟たち、私たちは何をすべきでしょうか』と言った。[38] そこで、ペトロは彼らに言った。『悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼(バプテスマ)を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるでしょう。』」(使徒言行録 2:37－38)

37 節にある「これ」とは、ペテロが 14 節で始めたメッセージ、特に 36 節のことを指しています。「だから、イスラエルの家はみな、はっきりと知らなくてはなりません。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は主とし、またメシアとなさったのです。」
（使徒言行録 2:36）

そして、「ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼(バプテスマ)を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。」(使徒言行録 2:41)にあるように、この新しい信者たちは、設立された初代の教会の最初のメンバーとなりました。この教会は非常に寛大な教会へと成長しました。これは聖霊の働きによってのみもたらされたものです。

したがって、一般的な「与える」ことの意味、特に惜しみなく与えることとは、お金の問題というよりも心構えであると言えます。ポケット(お金)の問題(Pocket Issue)ではなく、心の問題(Heart Issue)なのです！

イエスはこう言います。「あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるのだ。」(マタイによる福音書 6:21)

言い換えると、あなたの心はあなたの宝に付き従うのです。あなたの動機、考え、意志はあなたが富を置くところにあるのです。あなたが富の大半を株に置くならば、株の動向について考えるでしょう。あなたの富の大半を銀行に置くなら、銀行の安定を気にするでしょう。あなたの心のコンパスは、あなたのお金のあるところを指し示しているのです。

惜しみなく与える者になるには、私たちが聖霊なる神によって変えられる必要があります。しかし、それは段階的なプロセスです。ある人にとっては早いプロセスかもしれませんが、多くの人にとってはゆっくりとしたプロセスです。

2. 惜しみなく与えることは、他者の必要を満たすことに焦点を当てる

「財産や持ち物を売っては、必要に応じて、皆がそれを分け合った。」(使徒言行録 2:45)

ペンギンとその子供たち

2006 年に放映された映画、ハッピー　フィートの中に、私がとても好きなシーンがあります。それは、母親ペンギンたちが魚を捕り、食事を待つ父親ペンギンと子供たちのもとに戻るシーンです。数週間もの離ればなれの時を経て、とても幸せな再会に思われました。短い挨拶の後、母親ペンギンたちは子供たちに吐いた食べ物を与え始めました。母親たちは海で魚を捕った際に飲み込んだものを吐き出していたのです。

私が読んだ記事によると、「フォークランド諸島でのフィールドワーク中、ある研究者が今まで見たことのない行動を目撃しました－成長したジェンツーペンギン(ペンギンの種類の一つです)のヒナが、より小さな兄弟たちに、吐いた食べ物を与えている様子が何度も記録されました。なぜ成長したヒナがより小さな兄弟たちに食べ物を与えるのかは分かっていません。そのような行動は、理論上は成長したヒナたちの生存確率を下げる可能性があるからです。」
さらに、同じ記事ではこう記されています。「雄のコウテイペンギンは他のペンギンの中でもユニークな特徴を示します。雌が戻る前にヒナがかえると、雄は絶食しているにも関わらず、ヒナたちに与えるために食道から凝乳状の物質を産生し分泌することができ、およそ 2 週間程度は生存、成長が可能になります」(www.seaworld.org より引用)

初代教会の信者たちはこのようにして互いの必要を満たしました。自分たちにとって大切なもの、財産や所有物を惜しみなく分け与えたのです。私たちの教会で互いに仕え合う姿についても同じことが言えるでしょうか？

3. 惜しみなく与えることは、与える側と受け取る側双方に幸せをもたらす

初期の信者たちが与え、受けることによる祝福を体験した後、彼らが行ったことの一つは、「そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に集まり、家ではパンを裂き、喜びと真心をもって食事を共に」したことでした。（使徒言行録 2:46）

イエスによると、私たちが与えるとき、受け取る側だけが幸いを受けるのではなく、与える私たちはもっと幸いを受けるのです。「あなたがたもこのように労苦して弱い者を助けるように、また、主イエスご自身が『受けるよりは与えるほうが幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、私はいつも身をもって示してきました。」（使徒言行録 20:35）

「幸い」という言葉は、ギリシャ語「マカリオン」を訳したものです。直訳すると「幸せ」という意味です。この文脈では、内なる幸せとは、他者に対する能動的で無私の奉仕、具体的には自分の宝物、賜物、時間を分かち合うことから来るものです。他者に与えるとき、あなたの広げた手は神ご自身からの幸いをも受け取るのです。一方で、あなたが他者に与えないとき、あなたの手は閉じられ、幸いを受け取ることができないのです！

ハドソン テイラーと幸せ
19世紀に中国に派遣された宣教師、ハドソン・テイラーは質素な生活を送り、収入の2/3を分け与えました。彼はこう言いました。「自分のためにお金を使うことが減り、他者に与えることが増えるほど、私の魂は幸せと祝福で満たされていくことを体験した。」(www.epm.org より引用)

最も幸せな存在：神
全宇宙で最も幸せな人または存在は誰か知っていますか？この世で最も裕福な人たちではないことは確かです。神です！なぜでしょうか。神が最も惜しみなく与える存在だからです。

天地創造から新しい創造まで、そしてその間、私たちの救いを成就するために、神は過去から現在に至るまで、そしてこれからも寛大であり続けます。

・天地創造と寛大な神
神が最初の人、アダムとエバを創造した後、「[28] 神は彼らを祝福して言われた。『産めよ、増えよ、地に満ちて、これを従わせよ。海の魚、空の鳥、地を這うあらゆる生き物を治めよ。』[29] 神は言われた。『私は全地の面にある、種をつけるあらゆる草と、種をつけて実がなるあらゆる木を、あなたがたに与えた。それはあなたがたの食物となる。[30] また、地のあらゆる獣、空のあらゆる鳥、地を這う命あるあらゆるものに、すべての青草を食物として与えた。』そのようになった。」(創世記 1:28－30)

神は全ての創造物のために惜しみなく食物を備えました！

・寛大な神と救いの代価
「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネによる福音書 3:16)

神は私たちの救いのために、独り子であるイエス・キリストを惜しみなくお与えになったのです！

・寛大な神と新しい創造
「[5] すると、玉座におられる方が言われた。『見よ、私は万物を新しくする。』また言われた。「書き記せ。これらの言葉は信頼でき、また真実である。』[6] また、私に言われた。『事は成った。私はアルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。渇いている者には、命の水の泉から価なしに飲ませよう。[7] 勝利を得る者は、これらのものを受け継ぐ。私は彼の神となり、彼は私の子となる。』」(ヨハネの黙示録 21:5－7)
神は本当の命を求める者には誰でも惜しみなく与え、新しい創造へと招き入れてくださるのです！

あなたも神の性質に倣う者、神ご自身に似た者になりたいですか？そうであれば、惜しみなく与えてください。その結果としてあなたはとても幸せになります！なぜ多くの人(クリスチャンを含む)は、物質的に豊かであるにも関わらず、とても悲しくみえるのが不思議です。受けた幸いを惜しみなく他者に分かち合うことができていないからでしょうか。

4. 惜しみなく与えることは、永遠なる影響をもたらす投資である
「こうして、主は救われる人々を日々仲間に加えてくださったのである。」(使徒言行録 2:47)

イエスはこう言います。「[19] あなたがたは地上に宝を積んではならない。そこでは、虫が食って損なったり、盗人が忍び込んで盗み出したりする。[20] 宝は、天に積みなさい。そこでは、虫が食って損なうこともなく、盗人が忍び込んで盗み出すこともない。[21] あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるのだ。」(マタイによる福音書 6:19－21)

クラフトと投資
莫大な収入のおよそ25%をクリスチャンの働きのために何年も捧げ続けた、クラフトチーズ社の社長、クラフト氏はこう言いました。「唯一、一貫して有益な結果をもたらした投資とは、神に捧げたお金だけです。」(www:family-times.net より引用、出典不明)

神はその知恵により、私たちが永遠のために投資できるための方式を作りました。この方式とは、惜しみなく与えることです。イエスによると、冒頭でお話したように、あなたが宝を置くところにあなたの心は付き従うのです。
惜しみなく与えた東京バプテスト教会の最初のメンバーたち
東京バプテスト教会の設立者、故ダブ・ジャクソン牧師はその著書"Whatever it Takes(何としてでも)"で、TBCがどのように神の導きと恵みによって誕生したのかを振り返っています。1957年に、教会の設立を議題とした最初の会議に27人が参加し、教会を始めることに関心を示したそうです。

ダブ牧師はこう記しています。「私は参加者に対して、最優先にすべきことは日本をキリストのもとに導くことであり、日本全土やアジアの模範となるような教会を建てることだと説明しました・・・全てのメンバーが犠牲的に捧げ始めました。アメリカに帰国した元教会員でさえも、何千ドルも建物のために捧げました。私たちはこの小さなグループに対して最初から、什一献金だけでは足りないこと、完全な献身が必要であることを伝えていました！」

「既に捧げ得る全てを捧げていたある女性が、日曜学校の封筒を手に取り、『私と夫は、私たちのビュイック コンバーチブルを捧げます。』と書きました。」(ちなみにビュイックとはゼネラル モーター社のトップブランドの一つである高級車だったようです)

「ある士官学校の先生は全てを捧げた後、更に捧げるためにフロリダの家族からお金を借りたのです！私たち同様、彼女もこの教会を通して全世界で多くの人が救われることを確信していたのです。」

「ビルディング委員会で奉仕していたある少佐は、新しいクリスチャンで主と教会を愛していました。ある夜、彼は私に、建物のためにとそっと8500ドルの小切手を手渡しました。1957年当時、人々は決して裕福ではなかったのですよ！」

ダブ牧師はさらにこう記しています。「3階建て鉄筋コンクリートの恒久的な建物が形になり始めました！2年と経たないうちに、主は新しい建物を与えてくださり、その後多少の増築を伴ったものの、今日も東京バプテスト教会の拠点となっています。 建物は1959年11月に主に捧げられました。神が導き、神が備え、私たちはそれを見守る喜びがありました！」

設立以来過去67年間にわたり、多くの牧師や教会のリーダー、何千人もの献身的な信者たちが主に捧げ、TBCの奉仕や宣教を通して主に仕えてきました。神を賛美し、永遠に感謝します！

結論

この場を見渡すとき、TBCの奉仕を通してキリストに従うものとなった多くの人々がいます‥TBCの奉仕を通して、劇的に人生が変えられた人々がいます‥TBCの奉仕を通して配偶者と出会い、子育てをした人々がいます‥TBCの奉仕を通して、国内や海外で福音によって影響を受け、何千人もの笑顔の人々が想像できます‥もし今天国を訪問することができたら、TBCの奉仕を通して人生が変えられ、神の御前にいる人々に会えることでしょう‥全ては神の栄光のために！

私と妻と家族は100%、TBCの奉仕を通して与えられた神の恵みの受け取り手です。この場で主を知り、この場で主に召命を受け、今日も神の恵みによって私たちは神の栄光のために変えられ続けていると信じたいです。

あなたも私も、神の栄光のため、教会の未来のために惜しみなく与える者となり、またある人は惜しみなく与え続ける者となりますか？ より具体的に言うと、人々に伝道し、人々がキリストの福音により救われ、変えられるその目的のために、あなたは惜しみなく与えますか？ 日本や全世界の次世代の信者たちに影響を与えるべく、TBCの未来の建物のために惜しみなく与えますか？

TBCファミリーの皆さん、惜しみなく与える教会になりましょう！主が救われる人々を日々仲間に加えてくださいますように！ アーメン！

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0225jp

★クラス 301
私の賜物ってなんだろう？
1 月 19 日（日）1pm – 5pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: クラス 201 まで修了したTBCメンバー

★クラス 101
教会員になるためのメンバーシップクラス
2 月 16 日（日）1pm – 5pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: どなたでも

各クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife